



((( ( **技術・行政情報** ) )))

硬度材料の転用

- SDI用に開発された新型キャパシターや高速ローター（電力貯蔵用）
  - 高度技術開発局（ARPA）<sup>1)</sup>が開発した高効率モーターと燃料電池
  - ステルス爆撃機用に開発されたコーティング材料の転用（自動車窓用）
  - 陸軍戦車コマンドが開発したバーチャル・リアリティによるデザインのシミュレーション
- 等が上げられている。

<sup>1)</sup>もとの国防高度技術開発局（DARPA）。クリントン政権になって、「D」が取れてARPAとなり、民生用技術（あるいは両用技術）にも重点がおかれるようになった。

以上のように、積極的な民需転換プロジェクトが進められているが、民需転換に対する専門家の見方は依然懐疑的であり、90年に行なわれた政府の調査によると「85%は失敗に終わる運命にある」という。一体、民需転換の成功を妨げているのは何か。専門家の意見を求めると、大きく言って「軍事産業と民生市場のカルチャーギャップ」、「軍事技術開発プロセスの柔軟性のなさ」とスピードの遅さ」が上げられている。異なったカルチャーと環境で育った科学者／技術者の再教育はそう容易ではない。こういった「カベ」をどう乗り越えていくのか。今後とも注目して行くべき重要な課題だろう。

（マサチューセッツ工科大学国際問題研究センター  
主任研究員 鈴木 達治郎）

